

小学校長会会長賞

宇宙留学と地域での取り組み

堺市立 赤坂台小学校 六年

登 夢 子

犯罪や非行を防ぐために私は、自分も含め一人ひとりが地域の人たちとつながりをもつことが大切なのではないかと考えます。

私は、五年生の時、鹿児島県の種子島へ「宇宙留学」を体験しに行きました。里親の元で生活をし、小学校にも通いました。その小学校には、五年生が九人、全校児童三十人の小さな小学校だったので、全員の顔と名前を覚えることができました。小学校の友達だけではなく、地域の人たちとも顔見知りになりました。そのきっかけとなったのは地域の行事でした。

私が通っていた小学校の地域では、クリーン大作戦やふなくみ、田植えや稲刈りなど、地域の行事がとても盛んでした。その中でも、私の一番の思い出はふなくみでした。みんなで泥だらけになりながら、ウナギやふなを手で捕まえ、その後地域の方たちがウナギどんぶり料理を作ってください、それをみんなで食べました。

地域の人たちとつながりがあると、知らない人がその地域に来たらすぐにわかりました。私が居る間では、悪い噂を聞いたことはありませんでした。もし、悪いことをしている人を見かけたら

地域の人たちが注意してくれると思います。危険な場所は、「そこは危ないよ」と教えてくれると思います。

私が宇宙留学を終えて種子島から大阪に帰る時、学校の友達や先生達だけではなく、地域の人達も来てくれました。送別会という会です。おたがいに仲良くなれていたので、みんなとはなれるのはとてもさみしかったです。

地域の行事はとも多いのでそれに参加することは特別な事ではなく生活の一部になっています。すでに知り合いになっているので、行事に参加する事は、友達と遊びに行く様な感覚でとても楽しかったです。

種子島での経験を通して、私は、大人も子供も参加しやすいようなスポーツや清掃活動等の地域の取り組みをするのも良いと思います。そうすることで、地域の行事にますます参加しやすくなると思います。

このように、地域の人たちとのつながりを強くすることは、犯罪や非行を防ぐだけではなく、毎日の生活も明るく楽しくすごす

ことができると思います。私は大阪でも、地域たちとのつながりを大切にしまずは自分から進んであいさつをしていきたいと思ひます。

